



石中祭華やかに開催～響鳴した歌声

金賞は1年3組・2年2組・3年4組が獲得～Ishichu Pride2023～



10月21日(土)
22日(日)石中祭が開催されました。「おー！」と感嘆の聲が生徒の間からあふれた素晴らしい



い全校モザイク画が発表された後、生徒会執行部が企画した開会セレモニーが行われ、各学級の紹介・合唱コンクールへの意欲を表現した動画の公開などで盛り上がりました。執行

部の中学校生活・石中祭にかける想いが表現されたセレモニーでした。また、各学級の動画は、それぞれの個性が表現された見応えのあるものでした。2日目には今年度の「わたしの主張」花巻地区大会優秀賞の吉田颯真さんの発表、応援団リーダーによる石中太鼓のパフォーマンス、吹奏楽部のミニコンサート等のステージ発表がありました。その後、合唱コンクールが華やかに開



催されました。校長室前の会議室での練習中に感じたことがありました。「あれ？すごく上手なんだけど、1年生なのこれ？」、「男子の音が響いていて3年生だと想ってたら2年生だ！」。こんなことがよくあったので楽しみにしていたのですが、本番は各クラスとも出色の出来映えでした。私、校長が甘い目で見ても「上手に聞こえている。」のかなとも想ってたのですが、保護者の方々、来賓の方々や審査員の先生からも「すごく上手でした。びっくりしました。」という言葉聞いて、納得しました。各クラスとも、クラスのよさを表現して、ワンランク上の「心に響く」合唱を創り上げていたと想います。石中祭テーマの「響鳴」にふさわしい取り組みでした。コンクール形式での開催なので、1年生は金賞1の3、銀賞1の1、銅賞1の2、2年生は金賞2の2、銀賞2の3、銅賞2の1、3年生は金賞3の4、銀賞3の2、銅賞3の1・3の3という結果になりましたが、校長的には全クラスが金賞だった石中祭の合唱だったと感じています。各学級のチームとしての絆が、またバージョンアップしたと感じた石中祭でした。



【校長室より】2年生の学年合唱「つむぐ思い」は迫力、ハーモニーとも素晴らしくコンクールのスタートにふさわしいものでした。中文祭ステージ部門で花巻市の全中2生の前

で発表するにふさわしい合唱でした。2の2の「HEIWAの鐘」は迫力と音量でぐいぐい心にせまってきました。2の1の「手紙」は中学生にぴったりの歌詞で練習の時から校長室を出て、聞きに行くほど心に響く合唱でした。2の3「With You Smile」はハーモニーがきれいで学級のまとまりを感じることができました。それぞれの個性が輝いていました。



【校長室より】1年生の学年合唱「行き先」に驚いた人は多かったのではないかと思います。「うまい!」。「声出てる!」とても1年生とは思えない声量とハーモニー、表現力。来賓の方々も驚いていました。新鮮な気持ちで合唱コンクールに取り組んでいたからでしょうか。

全員が照れることなく表現に取り組んでるのがよくわかる合唱でした。今後の活躍が楽しみです。1年生のパワーアップに石鳥谷中の明るい未来を感じました。



【校長室より】3年生は各学級とも圧巻の合唱。審査も一番僅差での結果でした。3の2の「信じる」は選び抜かれた言葉が心にせまってくる曲。心からの叫びのような表現はすごかったです。3の4の「決意」は司馬遼太郎さんのエッセイに基づくメッセージソング。「みんなのこころの中にある美しいもの」に語りかけてくるような合唱は金賞にふさわしい表現でした。3の1の「YELL」は卒業、旅立ちをテーマ

にした3年生にしか表現できない感性の曲。完成度の高い合唱で練習を見にくる先生方も多かったです。3の3の「正解」も最強の卒業ソングとも言われるRADWINPS制作の曲。「僕（私）だけの正解を探しに行くんだ。」「採点基準はあなたのこれからの人生」等の珠玉の言葉が並びます。合唱コンのトリにふさわしい曲と表現でした。それぞれの個性の表現に順位はありません。いい合唱でした。お互いをリスペクトし、更に輝く3年生へ!